


就職支援希望アスリート「エントリーシート」

ふりがな	とびた かずま	性別	生年月日・年齢	
氏名	飛田 和真	男	2001年9月19日	
競技名／種別・種目	アーチェリー		23 歳	
出身地	茨城県水戸市			
現住所	神奈川県横浜市			
所属先	慶應義塾大学大学院			
練習場所	慶應義塾大学アーチェリー場、ナショナルトレーニングセンター			



【選手プロフィール】

■学歴・職歴

年	月	学歴・職歴
2020	3	水城高等学校 卒業
2024	3	慶應義塾大学 理工学部 機械工学科 卒業
2024	4	慶應義塾大学大学院 理工学研究科 総合デザイン工学専攻 入学
2026	3	慶應義塾大学大学院 理工学研究科 総合デザイン工学専攻 卒業見込み



■免許・資格

実用英語技能検定 2級(2018年2月取得)

普通自動車第一種運転免許(取得予定)

■国際大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績

■国内大会の主な戦績

年	月	大会名	戦績
2022	10	第64回 全日本ターゲットアーチェリー選手権大会	5位
2024	2	第22回 全日本学生室内アーチェリー個人選手権大会	2位
2024	6	第57回 全日本社会人ターゲットアーチェリー選手権大会	4位
2025	2	第34回全日本室内アーチェリー選手権大会	5位

■自己PR(競技で培った能力や経験を通じて企業に貢献できる内容など)

私はオリンピックでメダルを獲得する夢に向かって、日々練習に取り組んでいます。高校生から始めたアーチェリーはメンタルスポーツと言われており、大会で成績を残すためにはメンタルコントロールが非常に重要となります。極限のプレッシャーを感じる中でいかに平常心を保ち、自分のプレーを通して勝利することができるか、そこが非常に魅力的で、私が8年間アーチェリーに打ち込み続けるモチベーションになっています。しかし緊張で足の震えが止まらなくなり、そのまま自分の実力を発揮できずに成績を挙げられず悔しい思いをしたことも多くありました。こうした状況下で実力を発揮するために出場した試合全てで自身の状況を細かく分析し、課題解決のため試行錯誤を重ねました。例えば、緊張した時の考え方を最適化することで、自分のプレーを通せるようになるのではないかと工夫を重ねました。自分で考え、工夫し、最適化していくのが私の競技活動のスタンスで、このようなアプローチを通して分析力、課題解決力、成長力を養いました。こうした努力を重ね、ナショナルチームのメンバーでは比較的遅い時期に競技を始めていますが、短期間で急成長を果たし、3年間継続してシニアナショナルチームに所属しています。とはいえ、まだまだ満足してはおりません。ロサンゼルスオリンピックまで3年、これまで以上の成長を果たし、オリンピック代表、そしてメダル獲得を果たします。

皆様の企業にご採用いただくことができましたら、社員の皆様に勇気と感動をもたらすことができるアスリートに成長し、競技で培った、分析力、課題解決力、成長力を業務でも発揮し、必ず企業に貢献してまいります。

【採用検討企業への情報】

就職希望条件	
①職種・仕事内容	大学、大学院の専攻と関連がある職種に関心がありますが、成長力・課題解決力・分析力を発揮し、どんな職種においても責任を持って取り組ませていただきます。
②勤務地	関東
③勤務日数・時間帯	週3日から5日、時短での勤務を希望いたします。遠征の際はご配慮いただければ幸いです。